

2022年1月18日

東ソー株式会社

東ソーグループのカーボンニュートラルに向けた方針について

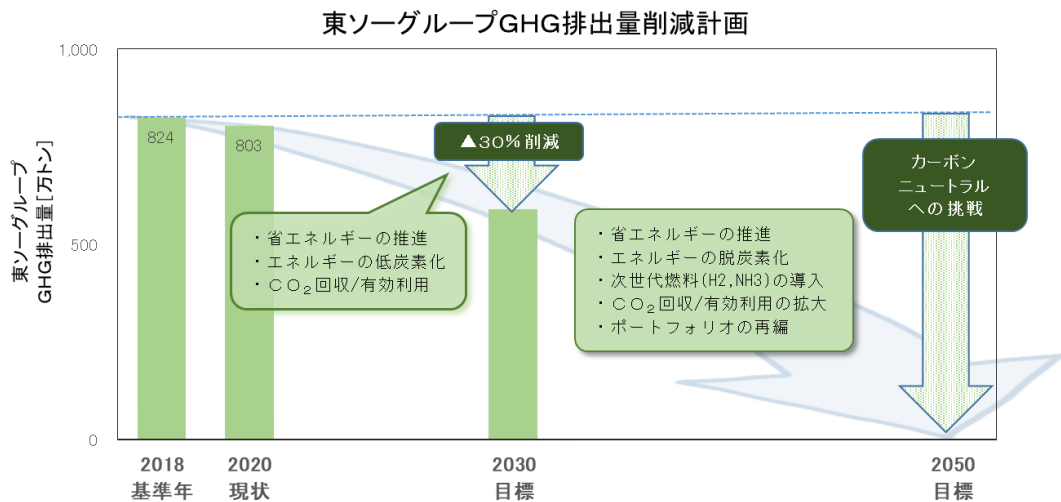
東ソー株式会社は、カーボンニュートラルに向けた方針を新たに策定しましたのでお知らせします。

1. 東ソーグループの温室効果ガス排出量削減

気候変動の主因となっている温室効果ガス(Greenhouse Gas : GHG)の排出量削減は世界で最も関心が高い社会課題の一つです。日本政府の2050年カーボンニュートラル宣言及び2030年度GHG排出量削減目標の見直しを受け、東ソーグループ全体でのGHG排出量削減方針を新たに策定しました。

2030年度までにGHG排出量を2018年度比で30%削減

2050年カーボンニュートラルへの挑戦



GHG 排出量削減施策

1) 省エネルギーの推進

新規投資におけるGHG排出量の増減をインターナルカーボンプライシングを用いて費用換算することで、投資判断の材料としているが、この設定単価を引き上げ、これまで以上に省エネの取り組みを加速させます。

2) 使用エネルギーの脱炭素化

GHG排出量削減に向けた最大のターゲットは自家用火力発電設備からのCO₂排出量削減です。GHG排出量の多い石炭等化石燃料からの段階的な転換(バイオマス、LNG、CO₂フリー水素・アンモニア等)を進め、あわせて再生可能エネルギー(太陽光等)の導入の取り組みを強化し、使用エネルギーの脱炭素化を推進します。

3) CO₂の回収・有効利用

発電設備や製造プロセスから発生する CO₂を分離・回収し、ポリウレタン原料などに有効利用する技術開発を外部研究機関や国の支援も受け、進めていきます。

4) GHG 排出量削減に向けた投資

上記1)～3)の対応のため、従来の設備投資に加えて 2030 年度に向けて約 1,200 億円の GHG 排出量削減投資を行う方針です。その中でも直近の 2022 年度からの3ヵ年で約 600 億円の投資を計画しています。

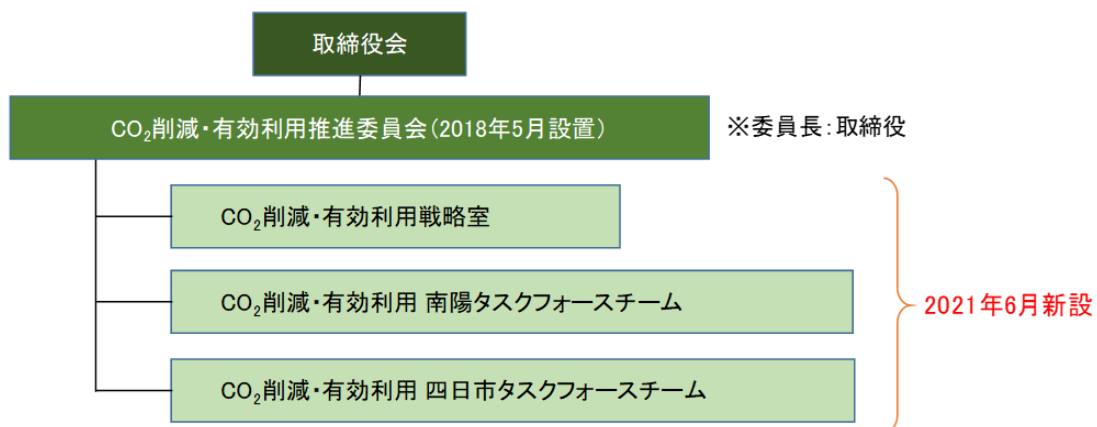
2. 製品・技術を通しての GHG 排出量削減による社会貢献

東ソーグループの生産活動に伴う GHG 排出量の削減施策に加え、サステナブルな製品・技術の提供を通じ、ライフサイクル全体での GHG 排出量の削減にも貢献していきます。

対象製品・技術	社会貢献
硬質ウレタンフォーム(断熱材) 塩化ビニル(樹脂サッシ)	高性能な外壁断熱材や断熱窓の素材の提供を通じ、省エネ住宅やネットゼロエネルギーハウス(ZEH)の普及に貢献。
CO ₂ 回収用アミン	燃焼排ガス中の NO _x 等に対して劣化が少ないことから、幅広い燃焼排ガスの CO ₂ 回収に適用可能。
省エネルギー型電解槽の技術	苛性ソーダ製造用のイオン交換膜法食塩電解槽の技術を共同開発し、国内外の企業にライセンス供与することで省エネに貢献。

3. 推進体制

東ソーグループでは、CO₂削減・有効利用推進委員会にて、GHG 排出量削減、CO₂の回収および原料化による有効利用を推進してきましたが、当該委員会のもとに CO₂削減・有効利用戦略室および CO₂削減・有効利用南陽/四日市タスクフォースチームを新たに設置し、推進体制強化を図っています。



以上